



いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎5144

季節のうつろい 夏へ！

自然はそのまま動いていきます。とどまることがありません。春と思っていたらすぐに夏の様相を見せます。ハルリンドウ、シヨウジヨウバカマなどの山野草に始まり、オオイヌノフグリ、タネツケバナなどの野辺の花。トウゴクミツバツツジやミツバツツジ、モチツツジなどのツツジ類、最後はバイカツツジです。コブシ、シデコブシ、ハクモクレン、タムシバ、ホオノキなどのモクレン科の花々に続くのは初夏の花々。サワフタギ、ツクバネウツギ、ガマズミ、オトコヨウゾメ、ヘビノボラス、ヒトツバタゴなどです。これらの花類は、すべて陶史の森で見ることが出来ます。カザグルマはキンポウゲ科の植物で、林の縁などに生え、枝の先に花柄を出し、その先端に大輪の美しい花を上向きに開きます。茎は褐色で、葉は3〜5枚の小葉からなります。

森にはたくさん生き物が共生しています。私たちは「生きる」について、まだまだ学ぶことが出来るようです。

森の日記

3月 バードウォッチングの結果

3月27日(日)

厳しかった冬が去り、春の日差しの下、今回は多くの方に参加していただきました。バードウォッチングを始めるとすぐに、ウグイスが歓迎のさえずりを始めてくれました。春の訪れに合わせ野鳥も移動を始めていました。コガモは北へ帰り、南からツバメがやってきました。

森の木々も季節に合わせて移ろいます。ハナノキは小さいけれども真紅の花が散り始め、サンシュユの黄色い花が盛りを迎えていました。ハルリンドウが咲き始め、カタクリのかわいい花が心をゆったりとさせてくれます。

今回のバードウォッチングでは、次のような野鳥を観察することができました。※()は羽

トビ(2)、キジバト(3)、コゲラ(5)、ヒヨドリ(3)、ツグミ(1)、ウグイス(8)、シジュウカラ(1)、ヤマガラ(10)、ヒガラ(5)、エナガ(10)、ホオジロ(10)、ウソ(1)、ハシボソガラス(1)、ハシブトガラス(1)、カルガモ(2)、アカゲラ(1)、スズメ(15)



教室のご案内

5月

- バードウォッチング(自由参加)
5月22日(日)午前9時~11時30分
初夏の野鳥を観察。(雨天中止)

6月

- ホタル鑑賞会(自由参加)
6月11日(土)午後6時30分~9時
ホタルの生態を知り観察。(雨天中止)

●ミツバチ教室(要申込)

6月19日(日)午前9時~11時30分
ミツバチのはちみつ搾りを体験。(小雨決行)



●バードウォッチング(自由参加)

6月26日(日)午前9時~11時30分
夏の野鳥を観察。(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。